

神遊 第九回公演

もつと分かる能楽講座

徹底解剖！

能 百萬 隅田川

Kamiasobi the 9th Stage HYAKUSMAN SUMIDAGAWA

難解だと思われがちな「能」を分かり易くお見せする徹底解剖！「能」シリーズ。これまで計6回を入門編として公演しました。ご好評をいただき、より多くの新しいお客様に能の入り口に立っていただくことが出来ました。今回は親子の愛情をテーマに二曲を選び、初級編では能「百萬」をご覧いただきます。また、もう既に何度かご覧いただいた方には、少し難しい演目となる能「隅田川」を、多少専門的な解説を加え、曲趣の理解を深めてご覧いただきます。前回同様、演者自作のテキストをお配り致しますので、どうぞ手ぶらでおでかけください。

ワークシヨップ(昼の部・夕方の部共通)

昼の部・二時始め
夕方の部・四時三十分始め

- I ストーリーを知る
- II 雛子の魅力
- III 装束を着る



【百萬】観世喜正

【初級編】 能『百萬』を観る

【昼の部】
子方 百萬の子 関根 祥丸
シテ 百萬 観世 喜正

能 百萬
ワキ 里人 森 常好
アイ 釈迦堂前の者 高澤 祐介

大鼓 柿原 弘和 太鼓 観世 元伯
小鼓 宮増新一郎 笛 一噌 隆之

後見 中所 宜夫
観世 喜之

地謡 古川 充 遠藤 和久
鈴木 啓吾 関根 祥人 恒治

【中級編】 能『隅田川』を観る

【夕方の部】
子方 梅若丸 関根 祥丸
シテ 狂女 観世 喜正

能 隅田川
ワキ 渡守 森 常好
ワキツレ 旅人 館田 善博

大鼓 柿原 弘和 一噌 隆之
小鼓 宮増新一郎 笛 一噌 隆之

後見 中所 宜夫
観世 喜之

地謡 古川 充 遠藤 和久
鈴木 啓吾 関根 祥人 恒治

【あらすじ】

【百萬】我が子が行方知れずになった。女舞人の百萬は、奈良から京の都、嵯峨の清凉寺にやってくる。大念仏の法要に集まる群衆の前で我が子の行方を探しつつ、舞狂う百萬。御仏の引き合わせにより、めでたく我が子と対面する。

【隅田川】いま東京を流れる隅田川。平安の昔には武蔵國と下総國の境をなす大河だった。人買い商人にだまされて連れて行かれた我が子梅若丸を追って、京の都から遙々東国隅田川までやってきた母。思いの余りに狂乱の体をさらしながらも、必死に行方を尋ねた母がみたものは、我が子が葬られた塚であった。行方知れずの子を探す能の演目の中で、唯一、子供と再会できない悲劇として知られる名曲。伊勢物語東下りの段を取り込み、文学的にも傑作といわれています。観世流では「九番習」といわれる、難易度の高い演目です。

神遊



柿原弘和



一噌隆之



宮増新一郎



観世元伯



観世喜正

平成12年3月11日(土) 矢来能楽堂 新宿区矢来町60番地 地下鉄東西線神楽坂駅徒歩3分

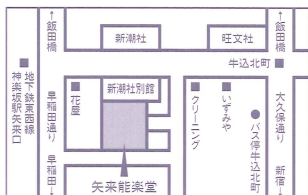
初級編『百萬』 午後1時始め／開場12時15分(終演予定3時10分)

中級編『隅田川』 午後4時30分始め／開場3時45分

正面指定席 4500円 脇正面自由席 3500円

問い合わせ：神遊 03-5227-1830

お申し込み：神遊 03-5227-1830/チケットびあ 03-5237-9988(脇正面自由席のみ取扱)



次回公演：七夕能 7月3, 4, 5日/会場 新宿パークタワーホール (3日 金春流『黒塚』高橋忍、4日 喜多流『小鍛冶』中村邦生、5日 観世流『鶯飼』観世喜正)